

2020（令和 2）年度前期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊短期大学

調査概要

授業評価アンケート結果

集計データ

調査票

調査概要

1) 調査目的

授業評価アンケートは、本学教学改革の一環として、授業改善を第一の目的として実施するものである。個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学習成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としている。また、ピアノ科目にはピアノ科目用の授業アンケートを実施している。

2) 調査項目

<一般科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学科・コース、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(6問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(16問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

<ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学科・コース)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

3) 調査対象

本学の2020(R2)年度前期開講の全授業(※受講者が10名未満のクラスの場合、担当教員の任意で実施)、及びこれらの授業を履修している全学生

4) 調査方法

WEBアンケートシステムを使用して調査を実施した

5) 調査期間

2020(R2)年6月22日(月)～2020(R2)年9月11日(金)(※原則、授業の14週目に実施)

6) 調査主体

大阪成蹊短期大学

7) 調査実施率と有効回答率

◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	生活デザイン学科	27科目	27科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース	39科目	39科目	100.0%
	調理・製菓学科 製菓コース	21科目	19科目	90.5%
	調理・製菓学科 FCコース	21科目	21科目	100.0%
	栄養学科	30科目	30科目	100.0%
	幼児教育学科	269科目	268科目	99.6%
	観光学科	39科目	39科目	100.0%
	グローバルコミュニケーション学科	28科目	28科目	100.0%
	経営会計学科	33科目	33科目	100.0%
	共通科目	95科目	95科目	100.0%
	教職科目	5科目	5科目	100.0%
	司書・司書教諭科目	8科目	8科目	100.0%
2020(R2)前期 計		615科目	612科目	99.5%

◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属 学科 等	生活デザイン学科		602名	
	調理・製菓学科 調理コース		906名	
	調理・製菓学科 製菓コース		630名	
	調理・製菓学科 FCコース		232名	
	栄養学科		1,504名	
	幼児教育学科		6,124名	
	観光学科		1,189名	
	グローバルコミュニケーション学科		552名	
	経営会計学科		630名	
	(所属学科等不明、その他)		19名	
2020(R2)前期 計		17,282名	12,388名	71.7%

※「延べ履修者数」は、学生1名が複数の調査対象科目に履修登録している場合、履修科目ごとに1名としてカウントした。

※「延べ有効回答者数」は、学生1名が調査期間中に複数の調査対象科目に出席し、且つ、アンケート用紙に回答した場合、回答した科目ごとに1名としてカウントした。ただし、アンケート用紙に1問も回答がない(回答者の基本属性を含む。自由記述は除く)ケースについては、無効回答として集計対象から除外した。

8) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業改善計画書を作成し、次期授業の中で改善計画を実践していく。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果

◆経年比較

※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

※履修者数10名未満の科目は除いている。

	209 年前期		2019 年後期		2020 年前期	
I 授業への学生の取り組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1. この授業への出席状況	4.00	1.21	3.77	1.29	4.64	0.88
2. この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	3.97	1.10	3.95	1.10	4.25	0.89
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	1.90	1.10	1.95	1.14	2.07	1.13
4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題+その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	1.63	0.99	1.65	1.04	1.78	1.05
5. この授業の難易度（自分にとって）	3.34	0.80	3.33	0.80	3.41	0.66
6. 私はこの授業のシラバスを活用した。	2.18	1.19	2.24	1.23	2.98	1.08
II 授業内容と授業の進め方						
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	3.92	1.06	3.97	0.99	4.14	0.93
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	3.93	1.05	3.98	0.98	4.12	0.93
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	3.94	1.04	3.99	0.97	4.17	0.90
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	3.93	0.99	3.99	0.92	4.16	0.90
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	3.99	0.97	4.01	0.93	4.08	0.95
6. 学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	3.98	0.97	4.01	0.92	4.17	0.92
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.01	0.96	4.03	0.91	4.25	0.84
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	3.96	1.01	4.00	0.94	4.20	0.90
9-1. （講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2. （実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	3.96	1.00	4.00	0.94	4.20	0.89

10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.07	0.95	4.09	0.90	4.32	0.82
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.12	0.92	4.12	0.89	4.39	0.79
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.03	0.94	4.06	0.90	4.11	0.91
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	3.99	0.97	4.04	0.91	4.12	0.91
14. 教員はよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	3.98	0.97	4.03	0.91	4.22	0.87
15. (該当者のみ) 対面授業では適切な教育設備 (ネット・空調・プロジェクターなど) が整っていた。	4.07	0.94	4.07	0.90	4.24	0.90
16. (該当者のみ) 遠隔授業では教員は授業ツール (Classroom など) を適切に使用していた。					4.32	0.84
Ⅲ授業を通して得られたこと						
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	3.99	0.96	4.04	0.89	4.22	0.84
2. 学習力や思考力が高まった。	3.93	0.97	3.98	0.91	4.17	0.87
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	3.90	0.99	3.95	0.92	4.14	0.89
4. 考え方や社会的視野が広がった。	3.90	0.98	3.96	0.92	4.14	0.88
5. コミュニケーションする力 (他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力) が高まった。	3.85	0.99	3.92	0.94	3.94	0.97
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標 (知識、技能、態度など) を達成できた。	3.78	0.99	3.88	0.92	3.96	0.90
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.04	0.96	4.06	0.90	4.34	0.82
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.00	1.00	4.04	0.92	4.30	0.86

※2019年度前期の数値より 0.2pt 以上上昇した項目に網掛けをしている。

直近2期の値と比較して、各質問項目の平均値、標準偏差ともに0.2-0.3pt程度上昇しており、類似した傾向ながらも数値が大きく上昇したことがうかがえる。特に「全体満足度」は元から高い水準を0.3pt上回っている。2020年度前期の概要は下記の通りである。

「Ⅰ 授業への学生の取り組み」においては、全般的に学生の授業への取り組みが向上し、授業への取り組み具合や出席、シラバスの活用が特に大きく上昇している。

「Ⅱ 授業内容と授業の進め方」においては、いずれの項目も向上しており、授業参加への促しやマナー指導以外は大きく上昇している。

「Ⅲ授業を通して得られたこと」においては、コミュニケーション能力の習得に関しては横ばいであるが、その他の項目は0.2-0.3pt と大きく向上している。

2020年度前期は、学生の授業への取り組み、教員の授業運営、学生の学修達成がいずれも大きく向上したと考えられる。

◆授業形態比較

※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

※履修者数10名未満の科目は除いている。

	対面		遠隔		併用		全体	
I 取り 組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 出席	4.50	0.91	4.74	0.85	4.53	0.91	4.64	0.88
2 熱心	4.29	0.84	4.23	0.88	4.27	0.90	4.25	0.89
3 学習 時間	1.89	1.09	2.29	1.14	1.82	1.07	2.07	1.13
4 全学 習時間	1.69	1.05	1.98	1.12	1.53	0.90	1.78	1.05
5 難易 度	3.52	0.69	3.46	0.62	3.35	0.69	3.41	0.66
6 シラ バス	2.82	1.14	3.05	1.02	2.91	1.14	2.98	1.08
II 授業 運営	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 簡潔 説明	4.07	0.97	4.09	0.91	4.21	0.94	4.14	0.93
2 理解 度	4.13	0.95	4.04	0.92	4.21	0.94	4.12	0.93
3 関心 工夫	4.15	0.96	4.12	0.89	4.24	0.91	4.17	0.90
4 学び 深める	4.17	0.93	4.10	0.89	4.24	0.90	4.16	0.90
5 授業 参加	4.15	0.99	3.95	0.96	4.23	0.93	4.08	0.95
6 フィ ードバック	4.21	0.91	4.10	0.93	4.25	0.90	4.17	0.92
7 位置 付け	4.25	0.92	4.21	0.83	4.31	0.84	4.25	0.84
8 配布 資料	4.11	0.97	4.16	0.89	4.25	0.90	4.20	0.90
9 資料 実技	4.13	0.99	4.16	0.87	4.25	0.89	4.20	0.89
10 熱 意	4.34	0.85	4.26	0.82	4.39	0.81	4.32	0.82
12 準 備	4.39	0.83	4.35	0.79	4.45	0.77	4.39	0.79
13 マ ナー	4.30	0.86	3.94	0.92	4.31	0.86	4.11	0.91

	対面		遠隔		併用		全体	
13 集中指導	4.23	0.92	3.98	0.92	4.30	0.86	4.12	0.91
14 授業改善	4.28	0.92	4.13	0.87	4.32	0.86	4.22	0.87
15 教育設備	4.27	0.90	4.04	0.95	4.35	0.85	4.24	0.90
16 授業ツール	4.08	0.99	4.31	0.83	4.34	0.85	4.32	0.84
Ⅲ学修達成	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1 専門性	4.23	0.92	4.20	0.81	4.24	0.87	4.22	0.84
2 学習思考力	4.14	0.97	4.15	0.84	4.19	0.90	4.17	0.87
3 好奇心探求心	4.16	0.95	4.11	0.87	4.18	0.91	4.14	0.89
4 視野考え方	4.13	0.97	4.13	0.86	4.16	0.91	4.14	0.88
5 コミュニ力	3.97	1.04	3.86	0.95	4.03	0.99	3.94	0.97
6 シラバス達成	3.94	0.97	3.93	0.86	3.99	0.92	3.96	0.90
7 役立ち	4.24	0.90	4.34	0.80	4.36	0.84	4.34	0.82
8 満足	4.29	0.93	4.26	0.86	4.35	0.86	4.30	0.86

いずれの授業形態においても、例年通りもしくは例年以上の高水準を示している。

短期大学の特徴として、下記の点が挙げられる。

1. 全て対面の授業は、全て遠隔授業よりも高水準であり、対面授業の重要性が挙げられる
2. 最も高水準なのは対面と遠隔を併用した授業である。これは恐らく、対面授業と遠隔授業の良い点が噛み合い高評価となったと推測される。短期大学では実習が多く絶対に対面授業が必要な部分と、遠隔授業でも可能な部分が混在している。例えば実習系では教員の手元を見る必要があったり、実際の制作を行ったりそれを評価してもらったりする必要がある。また座学系では動画形式を採用する事で何度も復習が可能であったり、自分の体調などに合わせて受講が可能であったりする。そのようなメリットの良い所を取った併用授業が高くなったのではないかと推測される。その振り分けを教員は熟考し、それが学生にもうまく伝わった可能性がある。

◆条件による「授業運営」尺度、「学修達成」尺度の違い

アンケート項目のうち

Ⅱ-1からⅡ-14までの平均を「授業運営」尺度とする。

Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。

今年度は、授業形式（対面・遠隔・併用・全体）とのクロス集計を行った。

学部（授業形態別）

		授業運営			学修達成		
所属学部		平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
生活デザイン	対面	4.43	0.69	117	4.34	0.78	121
	遠隔	4.18	0.77	257	4.14	0.79	263
	併用	4.52	0.66	192	4.39	0.70	195
	合計	4.35	0.73	566	4.27	0.77	579
調理・製菓	対面	4.45	0.62	29	4.53	0.53	30
	遠隔	4.21	0.77	177	4.07	0.84	186
	併用	4.25	0.77	1474	4.21	0.76	1508
	合計	4.25	0.77	1680	4.20	0.77	1724
栄養	対面	4.11	0.89	151	4.02	0.90	153
	遠隔	4.27	0.70	426	4.04	0.76	442
	併用	4.16	0.86	863	4.05	0.87	876
	合計	4.19	0.82	1440	4.05	0.84	1471
幼児教育	対面	4.07	0.83	35	4.06	0.73	35
	遠隔	4.10	0.75	4731	4.13	0.72	5064
	併用	4.43	0.67	432	4.34	0.71	449
	合計	4.13	0.75	5198	4.15	0.72	5548
観光	対面	4.11	0.76	2	3.88	0.53	2
	遠隔	4.00	0.85	32	3.90	0.99	32
	併用	4.32	0.75	1135	4.19	0.78	1142
	合計	4.32	0.75	1169	4.19	0.79	1176
GC	対面	4.20	0.73	111	4.09	0.82	113
	遠隔	4.19	0.70	22	3.95	0.71	22
	併用	4.36	0.68	391	4.21	0.69	398
	合計	4.32	0.69	524	4.17	0.72	533
経営会計	対面	3.57	0.93	21	3.57	0.98	21
	遠隔	4.19	0.74	211	4.09	0.75	214
	併用	4.17	0.74	366	4.06	0.78	373
	合計	4.15	0.76	598	4.05	0.78	608

合計	対面	4.21	0.81	466	4.13	0.84	475
	遠隔	4.12	0.75	5856	4.12	0.74	6223
	併用	4.28	0.76	4853	4.19	0.78	4941
	合計	4.19	0.76	11175	4.15	0.76	11639

授業運営尺度と学修達成尺度はよく似た傾向にある。

基本的に「併用」＞「対面」＞「遠隔」の順ではあるが、順序が入れ替わっている学科もあり、学科ごとの特色が強く出ていると考えられる。

授業形態

授業運営 学修達成 * 授業形態

授業形態	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義	4.20	0.76	6894	4.13	0.77	7149
演習	4.07	0.77	2970	4.09	0.74	3148
実技・実験・実習	4.53	0.64	254	4.46	0.69	260
合計	4.40	0.72	1076	4.35	0.72	1101

授業規模

授業運営 学修達成 * 授業規模

授業規模	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小（11～19）	4.19	0.79	924	4.12	0.81	955
中（20～39）	4.18	0.76	7724	4.16	0.75	8075
大（40～79）	4.21	0.79	1734	4.16	0.79	1790
特大（80～）	4.26	0.70	812	4.12	0.72	838
合計	4.19	0.76	11194	4.15	0.76	11658

授業規模に関しては例年と異なり、大人数の授業においても小中人数とほとんど差が認められない。これは遠隔を含めた併用授業により、学生ひとりひとりが授業に参加しやすくなった影響も考えられる。もちろん少人数授業も例年並みの数値を維持している。

学年

授業運営 学修達成 * 学年

学年	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1	4.28	0.72	6464	4.22	0.73	6757
2	4.08	0.80	4709	4.06	0.80	4880
3	4.36	0.76	6	4.83	0.22	6
4	3.97	0.96	7	4.20	0.71	7
5	4.54	0.91	8	4.38	1.41	8
合計	4.19	0.76	11194	4.15	0.76	11658

性別

授業運営 学修達成 * 性別

性別	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
男性	4.22	0.76	411	4.17	0.75	425
女性	4.20	0.76	10709	4.15	0.76	11156
その他	3.53	0.95	74	3.57	1.00	77
合計	4.19	0.76	11194	4.15	0.76	11658

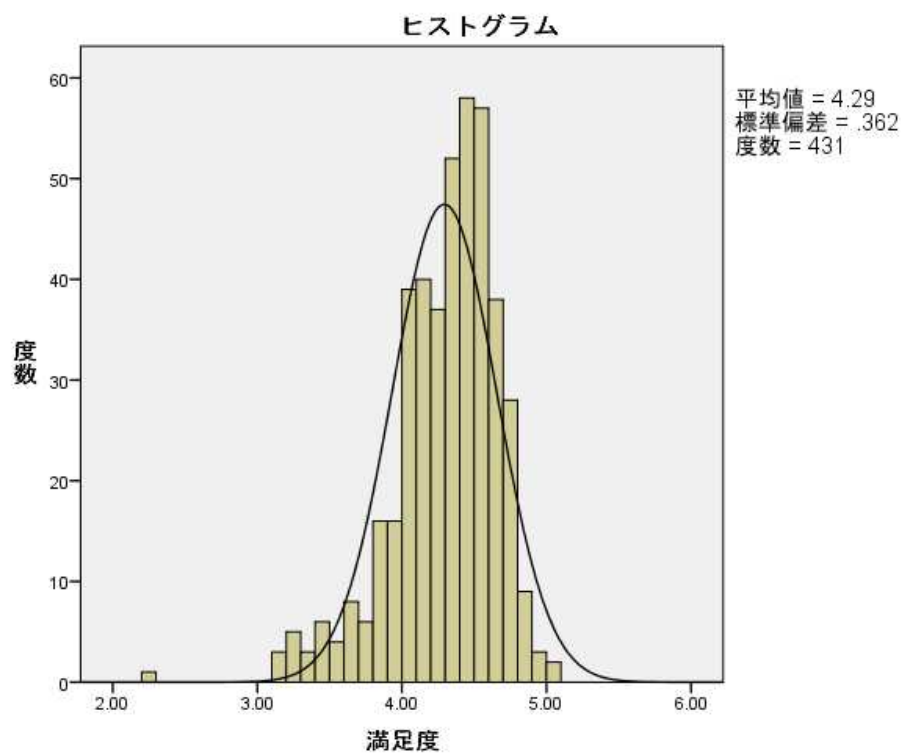
教員区分

授業運営 学修達成 * 教員区分

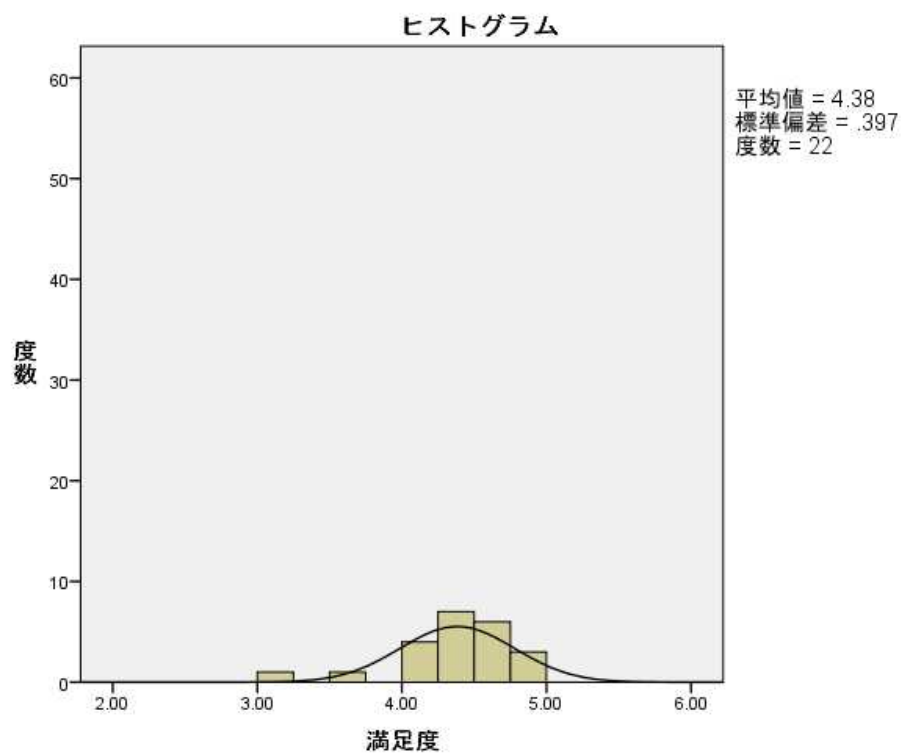
教員区分	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
専任	4.23	0.72	6924	4.18	0.72	7197
非常勤	4.14	0.81	4270	4.10	0.82	4461
合計	4.19	0.76	11194	4.15	0.76	11658

専任教員の方がわずかに非常勤講師よりも両指標が高い。

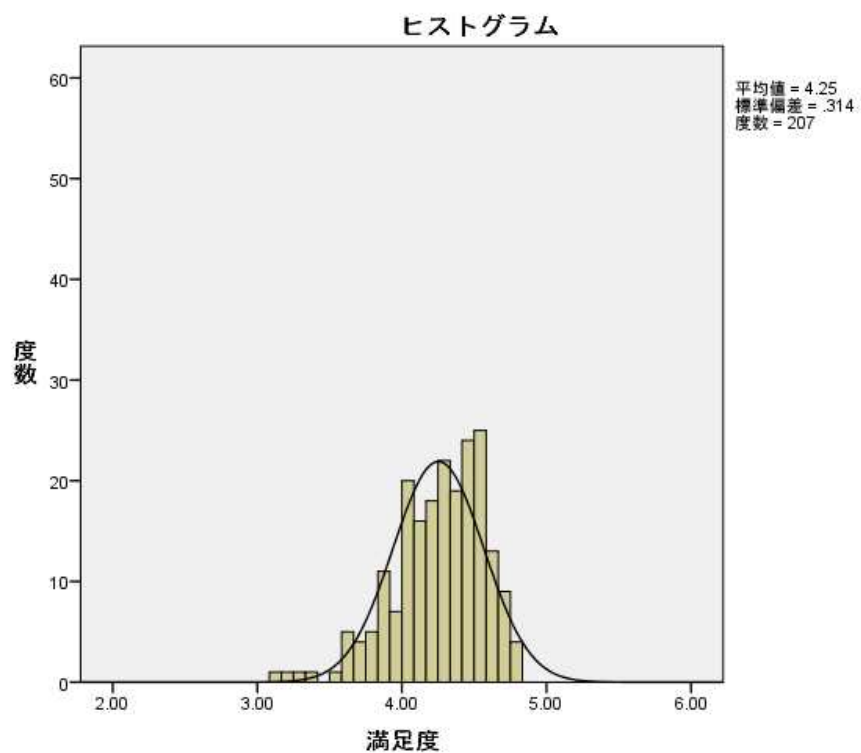
◆全体満足度の分布(全体平均)



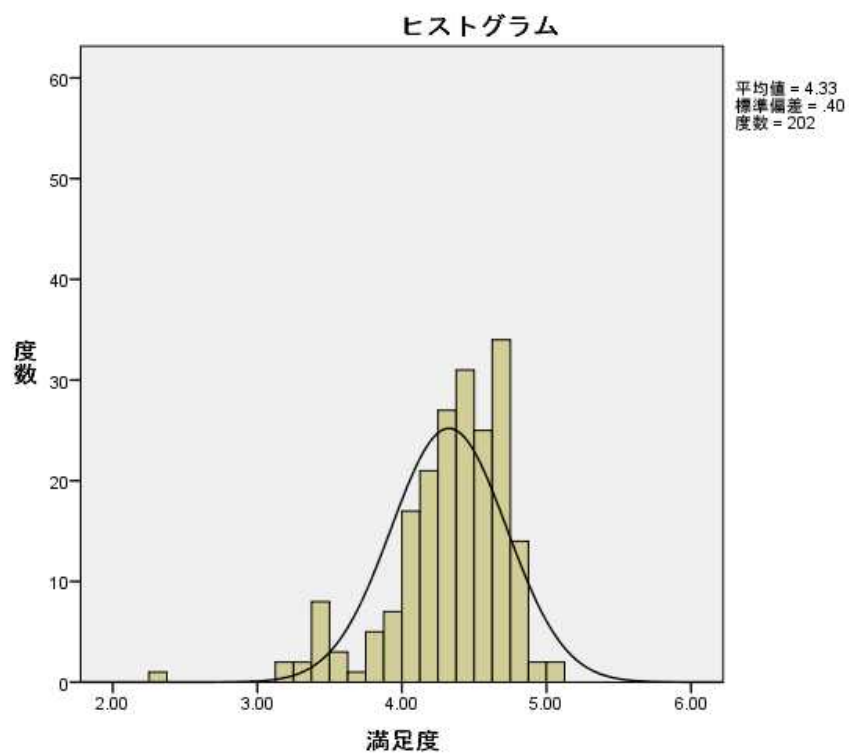
◆全体満足度の分布(対面平均)



◆全体満足度の分布(遠隔平均)



◆全体満足度の分布(併用平均)



◆相関分析（全体）

	I -2	I -3	I -4	I -5	I -6	授業運営	学修達成
I -1 出席	0.25	0.08	0.07	-0.04	0.08	0.07	0.09
I -2 熱心さ		0.15	0.10	-0.12	0.21	0.52	0.54
I -3 学習時間 （個別）			0.65	0.06	0.13	0.05	0.11
I -4 学習時間 （全体）				0.03	0.12	0.00	0.07
I -5 難易度					-0.06	-0.18	-0.21
I -6 シラバス 活用						0.28	0.30
授業運営							0.82

◆相関分析（対面）

	I -2	I -3	I -4	I -5	I -6	授業運営	学修達成
I -1 出席	0.31	0.03	0.00	-0.07	0.06	0.15	0.20
I -2 熱心さ		0.10	0.15	-0.12	0.10	0.57	0.60
I -3 学習時間 （個別）			0.61	0.01	0.13	0.08	0.14
I -4 学習時間 （全体）				0.04	0.15	0.05	0.13
I -5 難易度					-0.12	-0.21	-0.22
I -6 シラバス 活用						0.16	0.18
授業運営							0.85

◆相関分析（遠隔）

	I -2	I -3	I -4	I -5	I -6	授業運営	学修達成
I -1 出席	0.28	0.08	0.05	-0.09	0.08	0.09	0.10
I -2 熱心さ		0.18	0.12	-0.15	0.21	0.49	0.52
I -3 学習時間 （個別）			0.66	0.03	0.11	0.08	0.13
I -4 学習時間 （全体）				0.00	0.10	0.03	0.09
I -5 難易度					-0.11	-0.18	-0.24
I -6 シラバス 活用						0.32	0.33
授業運営							0.81

◆相関分析（併用）

	I -2	I -3	I -4	I -5	I -6	授業運営	学修達成
I -1 出席	0.21	0.01	0.04	0.00	0.05	0.07	0.07
I -2 熱心さ		0.14	0.09	-0.09	0.22	0.56	0.55
I -3 学習時間 （個別）			0.60	0.05	0.14	0.08	0.10
I -4 学習時間 （全体）				0.02	0.12	0.02	0.06
I -5 難易度					-0.02	-0.16	-0.18
I -6 シラバス 活用						0.27	0.29
授業運営							0.83

本報告書では授業形式別の相関も求め、相関係数が.2以上の箇所に網掛けをした。
いずれも類似した傾向であり、学生が熱心に授業参加しているほど、授業運営や学修達成を高く評価している（ $r=.49 \sim .60$ ）。また授業運営と学修達成には強い正の相関が認められる（ $r=.81 \sim .85$ ）。遠隔授業や併用授業で見られる特徴が、シラバスの活用と授業運営や学修達成との正の相関である（ $r=.30$ 程度）。これは対面では見られない相関である（ $r=.17$ 程度）。これは対面授業では教員が口頭で説明が可能であるのに対し、遠隔では学生が情報を少しでも得ようとシラバスを活用したと推測される。

教学改善のための授業評価アンケート

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。
 学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

[記入上の注意]
 ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
 ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
 ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
 <良い例> ● <悪い例> ○ ● ● ● ●

授業科目名
 教員名
 曜日・時限

大学 経営学部 ① 短期大学 生活デザイン学科 ④ 幼児教育学科 ⑨
 芸術学部 ② 調理・製菓学科 調理コース ⑤ 観光学科 ⑩
 教育学部 ③ 調理・製菓学科 製菓コース ⑥ グローバルコミュニケーション学科 ⑪
 調理・製菓学科 フードコーディネートコース ⑦ 経営会計学科 ⑫
 栄養学科 ⑧
 学年 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生以上
 性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他（または答えたくない） 学生区分 ① 一般学生 ② 留学生

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席（参加）状況 ① 4回以上欠席（4回以上不参加） ② 3回欠席（3回不参加） ③ 2回欠席（2回不参加）
 ④ 1回欠席（1回不参加） ⑤ 全出席（全回参加）
 2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。 ① そう思わない ② あまりそう思わない ③ どちらともいえない
 ④ ややそう思う ⑤ そう思う
 3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く） ① 1時間未満 ② 1～2時間未満 ③ 2～3時間未満
 ④ 3～4時間未満 ⑤ 4時間以上
 4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く） ① 7時間未満 ② 7～14時間未満 ③ 14～21時間未満
 ④ 21～28時間未満 ⑤ 28時間以上
 5. この授業の内容は私にとって ① 簡単すぎた ② やや簡単だった ③ 適切だった
 ④ やや難しかった ⑤ 難しすぎた
 6. 私はこの授業のシラバスを活用した。 ① 全く活用しなかった ② あまり活用しなかった ③ どちらともいえない
 ④ 活用した ⑤ とても活用した

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II 授業内容と授業の進め方

1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。 ① ② ③ ④ ⑤
 2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。 ① ② ③ ④ ⑤

そう思わない ① ② ③ ④ ⑤
 あまりそう思わない ① ② ③ ④ ⑤
 どちらともいえない ① ② ③ ④ ⑤
 ややそう思う ① ② ③ ④ ⑤
 そう思う ① ② ③ ④ ⑤

～裏面も回答してください～

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
Ⅱ 授業内容と授業の進め方（続き）					
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
16. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）が適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ 授業を通して得られたこと

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
------	--------	---------------	---------------	------------

1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

教学改善のための授業評価アンケート（ピアノ科目）

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。
 学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

[記入上の注意]
 ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
 ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
 ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
 <良い例> ● <悪い例> ○ ◐ ◑ ◒ ◓

授業科目名
 教員名
 曜日・時限

大 学	経営学部	①	短期 大学	生活デザイン学科	④	幼児教育学科	⑨
	芸術学部	②		調理・製菓学科 調理コース	⑤	観光学科	⑩
	教育学部	③		調理・製菓学科 製菓コース	⑥	グローバルコミュニケーション学科	⑪
				調理・製菓学科 フードコーディネートコース	⑦	経営会計学科	⑫
				栄養学科	⑧		

<学籍番号>（二重枠線内に学籍番号（数字7桁）を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。）

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席（参加）状況
 ① 4回以上欠席（4回以上不参加） ② 3回欠席（3回不参加） ③ 2回欠席（2回不参加）
 ④ 1回欠席（1回不参加） ⑤ 全回出席（全回参加）
 2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。
 ① そう思わない ② あまりそう思わない ③ どちらともいえない
 ④ ややそう思う ⑤ そう思う
 3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）
 ① 1時間未満 ② 1～2時間未満 ③ 2～3時間未満
 ④ 3～4時間未満 ⑤ 4時間以上
 4. この授業の内容は私にとって
 ① 簡単すぎた ② やや簡単だった ③ 適切だった
 ④ やや難しかった ⑤ 難しすぎた
 5. 私はこの授業のシラバスを活用した。
 ① 全く活用しなかった ② あまり活用しなかった ③ どちらともいえない
 ④ 活用した ⑤ とても活用した

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II 授業内容と授業の進め方

1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。
 2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。
 3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。
 4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。
 5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。
 6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。

そう
思わ
ない
①
あまり
思わ
ない
②
どちら
とも
い
え
ない
③
やや
そう
思
う
④
そう
思
う
⑤

～裏面も回答してください～

	そう 思う う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない
Ⅱ 授業内容と授業の進め方（続き）					
7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
10. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）が適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ 授業を通して得られたこと	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

[illegible]